

Shared Campus は、世界をリードする国際的な芸術系の大学、教育機関、カレッジにより設立された、国際的な教育様式と研究ネットワークのためのユニークな共同プラットフォームです。学生、研究者、教員のための価値を生み出すつながりを構築し、参加者が、異文化間の問題や学際的アプローチに明確に焦点を当てながら、知識やコンピテンシーを共有することを可能にします。

このプラットフォームは、世界とかかわりのある次の 5 つのテーマを中心に設計されています。

- クリティカル・エコロジー
- 文化 - 歴史と未来
- ポップカルチャー
- 社会の変化
- コラボレーティブツール

2023 年度サマースクールは、上記テーマの一環として、以下の Shared Campus パートナーと合同で、詳細に構築されています。

フルパートナー： ・香港城市大学、スクール・オブ・クリエイティブメディア

・香港浸会大学

・東京藝術大学

・ラサール・カレッジ・オブ・ザ・アーツ・シンガポール

・国立台北芸術大学

・ロンドン芸術大学

・チューリッヒ芸術大学

テーマパートナー： ・アムステルダム芸術大学 → ポップカルチャー、社会の変化

・パリ国立高等美術学校 → クリティカル・エコロジー

・モナシュ大学 → クリティカル・エコロジー

・京都精華大学 → ポップカルチャー

・ジューゲン大学 → ポップカルチャー

・トロンハイム・アカデミー・オブ・ファインアート → コラボレーティブツール

・ヌエバ・デ・リスボン大学 → 社会の変化

Shared Campus 2023 年度国際サマースクール募集要項

Shared Campus 2023 年度サマースクール

環境正義の技術

2023 年 6 月 21 日～7 月 8 日

香港

学習（とその解除）：

香港のソーシャリー・エンゲイジド・アート

2023 年 8 月 7～18 日（前週（8 月 1～3 日）に 3

回のオンラインミーティングあり）

香港

本サマースクールでは、次のことを問いかけます。私達は、疲れ果てた地球とそこの住民の環境をどうすればケアできるか。あらゆる生物が生きていくための共有地と権利とを脅かし続ける、帝国主義、植民地主義、資本主義による誤った展望に対抗するため、技術（craft）という手段をどうすれば活用できるか。

採取主義のリモートガイド

2023 年 7 月 3～15 日

アテネ、メルボルン

世界的なポップアイコンをハックする

2023 年 8 月 7～27 日

チューリッヒ

採取主義（Extractivism）とは、環境や社会システムに甚大な影響を及ぼし、約束した利益をほとんどもたらさない経済を表した言葉です。本サマースクールでは、学生たちを 2 週間にわたって、世界の採取主義の 2 つの現場に引き、過去、現在、未来で同時に起こるプロセスを調査しマップ化します。

眠らない 1960 年代：

東京が体験したアヴァンギャルド

2023 年 7 月 28 日～8 月 10 日

東京

水中ケーブル：

テレマティクスパフォーマンスの実践

2023 年 8 月 21～30 日

シンガポール、トロンハイム、チューリッヒ

本サマースクールでは、活気があって片時も落ち着くことのなかった 1960 年代を、東京を例としてより大きな文脈でとらえ、歴史的な意識を芸術上の実践に持ち込んで、今現在の社会の考察を刺激することを目指します。参加者は、講義および講演、現場訪問、スタジオ実習を通じて、歴史や記憶を参照しながら自身の創作活動を積極的に探求します。

さまざまな分野の学生がリモートの拠点から色々なステージを横断して協力する学際的コースです。学生は、ステージング、スコアリング、インプロビゼーション、パフォーマンスアートにおける技術を学びながら、テレマティクスの没入型パフォーマンス制作に関する美的、物語的、政治的側面を探求します。

環境正義の技術

2023年6月21日～7月8日

香港

香港のスクール・オブ・クリエイティブメディアが開催するサマースクールでは、「ケア」の修復戦略として、すべての人々が生存できる未来を構築するために、クラフト (craft) を通じた修復のエコロジーを探求します。まず、呼吸するという基本的人権からスタートします。これは、オランダのデザイナー、Annemarie Piscaer と Iris de Kievith によるデザインスタジオ Lab Air が、2021年に開始した Smogware プロジェクトで取り上げたものです。このプロジェクトには、黄土色から漆黒まで、落ち着いた色合いのセラミック製のカップ、ボウル、皿が含まれますが、これらは WHO の安全基準値を超える大気汚染が起きている、都市の路上で集めた一般的な大気汚染粒子から作られたものです。

修復を、あらゆる身体の生存を脅かす環境的不正義に対抗するための身体的、象徴的行為として、返還に関する脱植民地化のナラティブや選ばれた歴史的「真実」および沈黙装置の言説と併せて探究します。修復という忍耐深く粘り強い労働は、労働集約的で、綿密で、時間を要するクラフトの実践の中で具体化されています。本サマースクールでは、私たちすべてが望む未来に向けて、クラフトの技術における潜在的な癒しの身ぶりとしての修復、注意深い気づき、ケアに取り組むよう参加者に呼びかけていきます。

地元の美術館やギャラリー、クラフト、修復の業界とさまざまな角度からコラボレーションします。現場訪問、セッション、講演などで、修復が人々にどう理解されているのかをより深く理解できるでしょう。

学習成果 /コンピテンシー	<ul style="list-style-type: none">社会変革のためのクラフトの実践、とりわけ環境正義に関する知識を深める。社会変革のためのクラフトの実践に関連する、概念的、理論的議論に対する批判的な認識を実証する。社会的な問題を理解しこれに取り組みながら、探求と実践を展開し、クラフトの実務者、デザイナー、生産者、ユーザーにとってのデジタル化の価値を認識する。新しいタイプのオブジェクトを作成するためのデジタルツールとハンドメイドとの関係に対処する。アイデアを文化から実験に変換することを目的とした研究への、適切なアプローチを批判的に明確化し実行しながら、反対に、クラフトの未来の役割についても考察する。文化的に混在するグループの個々のプロジェクト作業を開発し、自身の表現方法を明確にして、デジタルとアナログの設計方法を使ってアイデアを提案する。デジタルの影響を受けたオブジェクトの文化に触れながら、それらの見た目、感触、機能を検討し、創造的な実践を行う。
------------------	---

教員	インスティテュートオブアートヒストリー (NOVA)、リサーチャー、Basia SLIWINSKA 博士 サイエンティフィックアソシエイト (ZHdK)、Larissa HOLASCHKE サステナビリティラボ (ZHdK)、共同代表、リサーチャー、Michael KROHN 教授 MFA プログラムディレクター (SCM)、アソシエイトプロフェッサー、Tobias KLEIN 博士 テクニカルティーチングアシスタント
----	---

Shared Campus 2023 年度国際サマースクール募集要項

その他ゲストスピーカー	
方法 日程	対面、SCM の設備およびワークショップを利用。デジタル機器を含む。 2023年7月3～15日
募集人数	メルボルン 15 名、アテネ 20 名。芸術とデザインのすべての分野（舞台芸術、映画、音楽、美術、メディア芸術、キュレーション、芸術教育を含む）の学生。
参加の基準 および要件	<ul style="list-style-type: none">英語に堪能であることレベル：BA、MA、MPhil、PhD芸術とデザインの全分野
応募書類	<ul style="list-style-type: none">次についての簡単な説明（最大 1 ページ）：自身のバックグラウンドについて。関心のあること。なぜサマースクールに参加しようと思ったのか。サマースクールに期待すること。ポートフォリオ：本サマースクールの目的と内容に関連した作品のサンプル（PDF、動画、音声ファイル）
単位	所属機関の定めに従い付与
宿泊施設	<ul style="list-style-type: none">アテネ：学生は宿泊施設を自分で予約する。推奨の宿泊施設の紹介がある。 参考価格：1泊 30～40€メルボルン：学生は宿泊施設を自分で予約する。 参考価格：メルボルン：ホステル共有ルーム：1泊約 AUD\$55、ホステルシングルルーム 1泊 AUD\$110～140、参考価格：ヤルーン：1泊 AUD\$90-120
費用	<ul style="list-style-type: none">Shared Campus パートナー機関の学生は受講料無料アテネまたはメルボルンへの旅費は学生の自己負担<ul style="list-style-type: none">旅費宿泊費生活費ビザ取得費（必要な場合）資金支援については所属機関に問合せのこと。
応募プロセス	<ul style="list-style-type: none">応募書類：https://intern.zhdk.ch/remoteguide 応募締切：2023年3月13日連絡窓口（申込みに関するお問合せ、書類の提出）：Shared Campus オフィスアドミニストレーター、Iris Meili - iris.meili@zhdk.ch参加者の選考は担当教員が行う参加の最終決定時期：2023年4月初旬

- 注記：カーボンフットプリントを可能な限り抑えるため、参加者は最寄りの開催場所に申請すること。
- 開催パートナー
- モナシュ大学 (MONASH)
 ロンドン芸術大学 (UAL)
 チューリッヒ芸術大学 (ZHdK)

6 Shared Campus 環境正義の技術

採取主義のリモートガイド 2023年7月3～15日 アテネ、メルボルン

採取主義 (Extractivism) とは、環境や社会システムに甚大な影響を及ぼし、約束した利益をほとんどもたらさない経済を表した言葉です。本サマースクールでは、学生たちを採取主義の2つの現場、ギリシャとオーストラリアに招き、過去、現在、未来で同時に起こるプロセスを調査しマップ化します。

メルボルンとアテネで運営されているこれら両スタジオは、地元のコネクストの中で同様の採取の現場を調査します。オーストラリア、メルボルンの学生はヤルーンに赴きます。ここでは、予定されている発電所の閉鎖が近づいているのに伴い、地域社会が町を立て直す準備を進めています。ヨーロッパのスタジオに参加する学生はエレウシスを探索します。古代エレウシスの秘儀が行われていた場所で、現在はアテネの北にある工業都市です。

参加者はさまざまな方法をテストして、物質的な影響を超えて採取主義を定義するものの、複雑さに対処するためのツールを開発します。また、目に見えない兆候と、それが破壊している土地および文化へのより広範な影響を記録します。サプライチェーン (地方/国内/地球規模)、地質学 (時間性/地質学的年代/エントロピー)、未来 (予測/推論/予想)、および、それぞれの採取プロセスの影響 (文化的、生態学的影響、規模) の合同マッピングを芸術的な実践に変換します。この2週間の集中プログラムの最後にはシンポジウムとオンラインの展覧会が行われます。

- 学習成果 / コンピテンシー
- 文化的伝統を背景とする生態学的現象を考察する。
 - 学際的、異文化的な文脈における、分野ごとの実務家向けのさまざまな機会を理解する。
 - コラボレーション、表現、コミュニケーションのスキルを学際的、異文化的な関わりに生かす。
 - 特定済みの問題 (「採取主義」の概念など) に関する批判的探究を実施し、そこから得られた知見を分析し評価する。
 - 現代の環境危機の高まり受け、世界中のさまざまな行動様式、存在様式を想定する方法を概念化し、開発して、独創的な提案を示す。
 - 学際的な取り組みに対して自身が同貢献できるかを批判的に検討する。

教員

メルボルン (MONASH) :
 建築学部、アートデザイン・建築、講師、Eduardo KAIRUZ

美術学部、アートデザイン・建築、シニア講師、Nicholas MANGAN
 その他ゲストスピーカー

アテネ (ZHdK)
 人文科学 MA (UAL)、パスイエイリーダー、Heather BARNETT, P
 異文化コラボレーション副部長/Shared Campus プログラムマネージャー、Nuria KRÄMER
 その他ゲストスピーカー

- 方法
- ハイブリッド：学生は現地2か所のいずれかで作業を行い、オンラインでやり取りを行う。
- 日程
- 2023年7月3～15日
- 募集人数
- メルボルン15名、アテネ20名。芸術とデザインのすべての分野 (舞台芸術、映画、音楽、美術、メディア芸術、キュレーション、芸術教育を含む) の学生。
- 参加の基準
 および要件
- 英語に堪能であること
 - レベル：BA、MA、MPhil、PhD
 - 芸術とデザインの全分野
- 応募書類
- 次についての簡単な説明 (最大1ページ)：関心のあること。なぜサマースクールに参加しようと思ったのか、サマースクールに期待すること。
 - ポートフォリオ：本サマースクールの目的と内容に関連した作品のサンプル (PDF、動画、音声ファイル)
- 単位
- 所属機関の定めに従い付与
- 宿泊施設
- アテネ：学生は宿泊施設を自分で予約する。推奨の宿泊施設について紹介がある。参考価格：1泊30～40€
 - メルボルン：学生は宿泊施設を自分で予約する。参考価格：メルボルン：ホステルの共有ルーム：1泊約AUD\$55、ホステルシングルルーム1泊AUD\$110～140、参考価格：ヤルーン：1泊AUD\$90～120
- 費用
- Shared Campus パートナー機関の学生は受講料無料
 - アテネまたはメルボルンへの旅費は学生の自己負担
 - 旅費
 - 宿泊費
 - 生活費
 - ビザ取得費 (必要な場合)
 - 資金支援については所属機関に問合せのこと。
- 応募プロセス
- 応募書類：<https://intern.zhdk.ch/remoteguide>

- 応募締切：2023年3月13日
- 連絡窓口（申込みに関するお問合せ、書類の提出）：
- **Shared Campus** オフィスアドミニストレーター、Iris Meili - iris.meili@zhdk.ch
- 参加者の選考は担当教員が行う
- 参加の最終決定時期：2023年4月初旬
- 注記：カーボンフットプリントを抑えるため参加者は最寄りの開催場所に申請すること。

開催パートナー
 モナシュ大学 (MONASH)
 ロンドン芸術大学 (UAL)
 チューリッヒ芸術大学 (ZHdK)

10 Shared Campus 採択主義のリモートガイド

眠らない1960年代： 東京が体験したアヴァンギャルド

2023年7月28日～8月10日
 東京

1960年代は、多様な文化の対立や、地方政治および国家間の断絶など、さまざまな動きや紛争が世界中で起こる一方、あらゆる社会が急速に変化していました。東京を例にとれば、それまでにない視点とダイナミクスとがもたらされ、芸術、より広くは、戦後の急速な発展後の時期の、より大きな文化から、実務家の強力なネットワークが構築されました。こうした環境で生まれたのが、アヴァンギャルドという概念に関する肥沃な問題領域です。アヴァンギャルドは局所性、そして、現代の東京におけるコンテンポラリーという概念に関係し、2つの時代のあらゆるつながりと切断と発展させています。

本サマースクールは、関連するある種のプレースホルダーとしての場所のユニークさを考慮して、東京で開催されます。本スクールは、歴史的意識を芸術実践に持ち込み、現代社会に対する私たちの考察を刺激することを目指します。

東京藝術大学を拠点とし、さまざまな芸術家の講演、訪問、ゲストレクチャー、キュレーションされた文化ツアー、ワークショップなどが行われます。ゲストスピーカーには、美術館 M+の副館長、Doryun Chong 氏とイエローマジックオーケストラのリーダー、細野晴臣氏が含まれます。中心となるスタジオでのプログラムは、最後に、参加者による公開のスタジオ展示で締めくくられます。

学習成果

- 歴史への認識を深める。

Shared Campus 2023 年度国際サマースクール募集要項

/コンピテンシー

- 素材の指標性と部位特異性について説明する。
- 開発の主題を概念化する。
- 批判的考察に基づいて歴史/記憶を描写する。

教員

(ZHdK) アソシエイトプロフェッサー、William DAVIS
 (TUA) グローバルアートプラクティス教授、今村 有策
 (SCM) アソシエイトプロフェッサー、LEUNG Chi Wo
 (UAL) セントラル・セント・マーチンズ、准教授、Erika TAN
 その他ゲストスピーカー

方法

対面：一部、公開のオンライン講義あり。

日程

2023年7月28日～8月10日

募集人数

30名。芸術とデザインのすべての分野（舞台芸術、映画、音楽、美術、メディア芸術、キュレーション、芸術教育を含む）の学生。

参加の基準

- 英語に堪能であること

および要件

- レベル：BA、MA、MPhil、PhD
- 芸術とデザインの全分野

応募書類

- 次についての簡単な説明（最大1ページ）：関心のあること。なぜサマースクールに参加しようと思ったのか、サマースクールに期待すること。
- ポートフォリオ：本サマースクールの目的と内容に関連した作品のサンプル（PDF、動画、音声ファイル）

単位

所属機関の定めに従い付与

宿泊施設

- 学生は宿泊施設を自分で予約する。参考価格：二人用共有ルーム1人1泊 USD15～20。

費用

- **Shared Campus** パートナー機関の学生は受講料無料
- 東京への旅費は学生の自己負担
 - 旅費
 - 宿泊費
 - 生活費
 - ビザ取得費（必要な場合）
- 資金支援については所属機関に問合せのこと。

応募プロセス

- 応募書類：<https://intern.zhdk.ch/remoteguide>
- 応募締切：2023年3月13日
- 連絡窓口（申込みに関するお問合せ、書類の提出）：
- **Shared Campus** オフィスアドミニストレーター、Iris Meili - iris.meili@zhdk.ch

- 参加者の選考は担当教員が行う
- 参加の最終決定時期：2023年4月初旬

開催パートナー
 香港城市大学/スクール・オブ・クリエイティブメディア (SCM)
 東京藝術大学 (TUA)
 ロンドン芸術大学 (UAL)
 チューリッヒ芸術大学 (ZHdK)

14 Shared Campus 東京が体験したアヴァンギャルド

学習（とその解除）： 香港のソーシャリー・エンゲイジド・アート 2023年8月7～18日（前週（8月1～3日）に3回のオンライ ンミーティングあり） 香港

本サマースクールは2週間の集中プログラムです。参加者は、ソーシャリー・エンゲイジド・アートと学習解除から成る枠組みを通じて自身の知識と経験とを広げます。これを、系列的な思考方法や作業方法を揺さぶるプロセスに取り組むことで行います。参加者は、学生同士、そして地元のクリエイティブの実務家らと互いに協力しながら学びます。

焦点となる場所は深水埗とその周辺です。この土地には工業、物質文化、伝統芸術と現代芸術、意匠と工芸の豊かな歴史があり、ソーシャリー・エンゲイジド・アートのプロジェクトにもってこいの場所です。参加者は、サポートを受けながらフィールドワークの観察を記録し、伝統的・非伝統的な民族学的方法を用いて観察を行い、学習解除のためのカリキュラム/ワークショップを組み立てて共同で構築します。参加者は、山、テクスチャ、音、水、食物といったその土地固有でありながらなお解釈の余地がある他のテーマとの関連の中で、プロセスが、ソーシャリー・エンゲイジド・アートの枠組みの下でいかに展開していくのかについて特に注意を払うことが求められます。

本プログラムの究極の目的は、参加者が自分自身の創作活動とプロセスを拡張できるような、これまでにない学習と促進の方法をどうすれば生み出せるのかについて、考えを共有し、これまで学習したことを一度捨て去り、協力し、新たに洞察を得る体験を提供することにあります。

- | | |
|------------------|--|
| 学習成果
/コンピテンシー | <ul style="list-style-type: none"> • 異なる文化的環境でさまざまなバックグラウンドや分野の人々と協力する。 • ソーシャリー・エンゲイジド・アートの実践に関する知識を深める。 • 社会的、経済的、文化的な複数の交わりがソーシャリー・エンゲイジド・アートの実践にどう影響しインパクトを与えるのかを実際に体験する。 • 伝統的・非伝統的な民族学的フィールドワークの手法によりスキルと経験を得る。 • 構造や、過去/現在の教育、学習、促進の方法を解体するフレームワークとして、脱植民地化をどう活用できるかを理解する。 • 主流のモデルに代わる精神的モデル/パラダイムを選択し活用する（つまり、精神的モデル/ |
|------------------|--|

Shared Campus 2023 年度国際サマースクール募集要項

パラダイムの学習を解除する）能力を高める。

教員
 (HKBU) 舞台芸術学部講師、アーティスト、Seraina DÜR
 (ZHdK) リサーチアシスタントプロフェッサー、空間デザイン、Evelyn KWOK
 (AHK) ダンス、講師、Gabriela ACOSTA CAMACHO
 (UAL) MA パフォーマンス：社会コースリーダー、Anna MACDONALD 博士
 その他ゲストスピーカー、Pat Wing Shan WONG、Yizhou WANG、Michael LEUNG、Jennifer TEETER、Kae AMO 他

方法
 対面：2023年8月7～18日
 オンライン：2023年8月1～3日（ミーティング1回、講義2回）

日程
 募集人数
 2023年8月7～18日（前週（8月1～3日）に3回のオンラインミーティングあり）
 32名。芸術とデザインのすべての分野（舞台芸術、映画、音楽、美術、メディア芸術、キュレーション、芸術教育を含む）の学生。注記：参加者は、前週（8月1～3日）の2回のオンライン講義と1回のミーティングに参加できる必要がある。

- | | |
|----------------|--|
| 参加の基準
および要件 | <ul style="list-style-type: none"> • 英語に堪能であること • レベル：BA、MA、MPhil、PhD • 芸術とデザインの全分野 |
|----------------|--|

- | | |
|------|--|
| 応募書類 | <ul style="list-style-type: none"> • 次に関する簡単な説明（最大500ワード）：現在の居住地と専攻分野を含む簡単な自己紹介をして下さい。本サマースクールに参加しようと思ったきっかけ。「ソーシャリー・エンゲイジド・アート」とは、「学習解除」とは、あなたにとってどんな意味があるのか。このサマースクールでどのような貢献をしたいと考えているか。このサマースクールに期待すること。 • ポートフォリオ：本サマースクールの目的と内容に関連した作品のサンプル（PDF、動画、音声ファイル） |
|------|--|

単位	所属機関の定めに従い付与
----	--------------

- | | |
|------|--|
| 宿泊施設 | <ul style="list-style-type: none"> • 学生は宿泊施設を自分で予約する。低価格でアクセスに便利な宿泊施設の紹介あり。参考価格：1泊HKD500～750。団体宿泊に同意すると、割引のある団体予約が可能。 |
|------|--|

- | | |
|----|---|
| 費用 | <ul style="list-style-type: none"> • Shared Campus パートナー機関の学生は受講料無料 • 香港への旅費は学生の自己負担 <ul style="list-style-type: none"> • 旅費 • 宿泊費 • 生活費 • ビザ取得費（必要な場合） • 資金支援については所属機関に問合せのこと。 |
|----|---|

応募プロセス	<ul style="list-style-type: none"> 応募書類：https://intern.zhdk.ch/remoteguide 応募締切：2023年3月13日 連絡窓口（申込みに関するお問合せ、書類の提出）： Shared Campus オフィスアドミニストレーター、Iris Meili - iris.meili@zhdk.ch 参加者の選考は担当教員が行う 参加の最終決定時期：2023年4月初旬
--------	---

開催パートナー	アムステルダム芸術大学（AHK） 香港浸会大学（HKBU） ロンドン芸術大学（UAL） チューリッヒ芸術大学（ZHdK）
---------	---

世界的なポップアイコンをハックする 2023年8月7～27日 チューリッヒ

この3週間のサマースクールでは、世界的なポップアイコンを共通の出発点として、文化の分析と、選択したアイコンの影響を解体、リミックス、拡大する、新しい芸術作品およびジャーナリズム作品の超領域的的制作を行います。ヨーロッパやアジアからやってくる参加者が、さまざまな調査手法（民族学的フィールド調査、ポップカルチャー理論、受容理論、談話分析）を使って、さまざまな形式の共創によりコラボレーションします。

学生は、異文化間のコラボレーションにより新たな創造的分野を体験し、グローバルな文脈、グローバルなメインストリーム、異文化での翻案における文化的概念について学ぶユニークな機会が得られます。**Shared Campus** のグローバルなポップカルチャーフェスティバル「**Out in the Loop**」と並行して、参加者は今年のテーマである「**The Natures of Pop**」（ポップの本質）に関する実践的な研究を行います。

本コラボレーションは最終的に、本フェスティバルでさまざまな芸術的フォーマット（フィクションおよびドキュメンタリー映画、インタラクティブメディア、パフォーマンス、クリエイティブノンフィクション、短編小説、コミック、ポッドキャスト、談話分析、空間インスタレーション、公共空間のアート、歌唱、音楽ビデオなど）を使って発表されます。

学習成果 /コンピテンシー	<ul style="list-style-type: none"> 文化的概念をグローバルな文脈の中で理解する。 世界的なアイコンがどのように相互作用し、デジタル一元論により形作られているかを検証する。 「The Natures of Pop」（ポップの本質）というテーマを深掘りする。 実践ベースの異文化間および超領域的なクリエイティブコラボレーションを体験する。 メディア表現理論の議論と適用を行う。 プレゼンテーションのスキルを磨く。
------------------	--

教員	(HKBU) ビジュアルアーツ学部アソシエイトプロフェッサー、メディアアーティスト、Kingsley
----	--

Shared Campus 2023 年度国際サマースクール募集要項

NG	(HKBU) 人文・クリエイティブライティング学部研究員・教授、作家、詩人、CHOW Yiu Fai 教授 (ZHDK) 映画学部講師・研究員、長編映画・テレビシリーズ監督、Tom GERBER (ZHDK) 文化分析学部講師・研究員、作家、音楽家、Claudio BUCHER その他ゲストスピーカー
----	--

方法	対面
日程	2023年8月7～27日

募集人数	20～25名。芸術とデザインのすべての分野（舞台芸術、映画、音楽、美術、メディア芸術、キュレーション、芸術教育、ジャーナリズム、ゲーム設計を含む）の学生。
------	---

参加の基準 および要件	<ul style="list-style-type: none"> 英語に堪能であること レベル：BA、MA、MPhil、PhD 芸術とデザインの全分野
----------------	--

応募書類	<ul style="list-style-type: none"> 次についての簡単な説明（最大1ページ）：自身のバックグラウンドについて。関心のあることは？ 本サマースクールに参加したいと思った理由（「ポップの本質」や世界的なポップアイコンに関連することなど）。このサマースクールに期待すること。 ポートフォリオ：本サマースクールの目的と内容に関連した作品のサンプル（PDF、ビデオ、音声ファイル、ウェブサイト）
------	--

所属機関の定めに従い付与

単位	
宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設は ZHdK が手配する。費用は参加者の自己負担。支払い方法は今後通知する。参考価格：1泊 CHF40。

費用	<ul style="list-style-type: none"> Shared Campus パートナー機関の学生は受講料無料 香港への旅費は学生の自己負担 <ul style="list-style-type: none"> 旅費 宿泊費 生活費 ビザ取得費（必要な場合） 資金支援については所属機関に問合せのこと。
----	--

応募プロセス	<ul style="list-style-type: none"> 応募書類：https://intern.zhdk.ch/remoteguide 応募締切：2023年3月13日 連絡窓口（申込みに関するお問合せ、書類の提出）：
--------	---

- Shared Campus オフィスアドミニストレーター、Iris Meili - iris.meili@zhdk.ch
- 参加者の選考は担当教員が行う
- 参加の最終決定時期：2023年4月初旬

開催パートナー
香港浸会大学 (HKBU)
ロンドン芸術大学 (UAL)

22 Shared Campus 世界的なポップアイコンをハックする

水中ケーブル：テレマティクスパフォーマンスの実践

2023年8月21～30日

シンガポール、トロンハイム、チューリッヒ

「水中ケーブル」サマースクールは10日間のコースです。学生は、チューリッヒ、シンガポール、トロンハイムの3つの拠点でグループを作り、最終パフォーマンスに向けて協力しながら作業を進めます。

本年度のテーマは、昨年 Unnur Andrea Einarsdóttir によるオンライン合唱ワークショップからインスピレーションを得ています。海底ケーブルのネットワークは、ワールドワイドウェブと、現代におけるテクノロジーを通じた人類文化および生態環境 (テクノスフィア) の世界的拡張の支柱です。テレマティクスパフォーマンスは、物理的な場所と仮想的な場所の両方で同時に発生するユニークなテクノアートの様式です。このハイブリッド性は、統合、共生、親密さ、さらには、社会政治的な権力構造に対する抵抗と、テクノロジー、企業、人間の間の絡み合いとによって生み出されています。

学生はそれぞれの拠点に集り、ZHDK で開発されたリアルタイムの映像・音響ツールを使って、毎日4時間オンラインで接続します。このユニークなハイブリッド環境の中で、インプロビゼーション、スコアリング、ステージング、コログラフィ、その他、ハイブリッドメディア技術の実践を応用する方法を学びます。さらに、ホスト機関ごとにオフラインのアクティビティも予定されています。

- 学習成果 / コンピテンシー
- 異文化間のコラボレーション環境でテレマティクスパフォーマンスの制作戦略を学ぶ。
 - 芸術的なテーマを開発し、一連のアート様式を横断して相互にネットワーク化されたアーティストとリアルタイムでやり取りする。
 - 自信を養い芸術表現のパーソナルな語彙を増やす。
 - テレマティクス環境で技術的、芸術的に実際の作業を行う。
 - チームによる学際的実験に向けた学習を行い戦略を利用する。

教員 (ZHDK) デザイナー、舞台演出家、振付師、パフォーマンス講師、Benjamin BURGER
(SEIKA) 音楽家、非常勤講師、Takuro Mizuta LIPPIT

Shared Campus 2023 年度国際サマースクール募集要項

(NTNU) ポップパフォーマンス/芸術研究員、教授、Alexandra MURRAY-LESLIE 博士
(LASALLE) 現代音楽学部長、Timothy O' DWYRE
ゲストアーティスト、講師

方法
ハイブリッド：学生は3つの各開催場所（シンガポール、トロンハイム、チューリッヒ）に集合。
サマースクール期間中はそれぞれがオンラインで接続している。

日程
2023年8月21～30日
募集人数
48名。芸術とデザインのすべての分野（舞台芸術、映画、音楽、美術、メディア芸術、キュレーション、芸術教育、ジャーナリズム、ゲーム設計を含む）の学生。

- 参加の基準
および要件
- 英語に堪能であること
 - レベル：BA、MA、MPhil、PhD
 - 芸術とデザインの全分野

- 応募書類
- 次についての簡単な説明（最大1ページ）：自身のバックグラウンドについて。関心のあること。本サマースクールに参加したいと思った理由。このサマースクールに期待すること。
 - ポートフォリオ：本サマースクールの目的と内容に関連した作品のサンプル（PDF、ビデオ、音声ファイル）

単位
所属機関の定めに従い付与

- 宿泊施設
- シンガポール：学生は自分で宿泊施設を予約する。推奨の宿泊施設について紹介がある。参考価格：シンガポール：1泊 USD35～40。
 - トロンハイム：学生は宿泊施設を自分で予約する。参考価格：トロンハイム：1泊約 45€
 - チューリッヒ：宿泊施設は ZHDK が手配する。費用は参加者の自己負担。支払い方法は後日通知する。参考価格：チューリッヒ：1泊約 CHF40。

- 費用
- Shared Campus パートナー機関の学生は受講料無料
 - 各開催場所への旅費は学生の自己負担
 - 旅費
 - 宿泊費
 - 生活費
 - ビザ取得費（必要な場合）

応募プロセス

- 資金支援については所属機関に問合せのこと。

- 応募書類：<https://intern.zhdk.ch/remoteguide>
- 参加場所を選択のこと（シンガポール、トロンハイム、チューリッヒのいずれか）
- 応募締切：2023年3月13日

- 連絡窓口（申込みに関するお問合せ、書類の提出）：
- **Shared Campus** オフィスアドミニストレーター、Iris Meili - iris.meili@zhdk.ch
- 参加者の選考は担当教員が行う
- 参加の最終決定時期：2023年4月初旬

開催パートナー

京都精華大学（SEIKA）

ラサール・カレッジ・オブ・ザ・アーツ・シンガポール（LASALLE）

トロンハイム・アカデミー・オブ・ファインアート（NTNU）

チューリッヒ芸術大学（ZHdK）

2023 年度国際サマースクール

応募締切 2023 年 3 月 13 日

連絡窓口（申込みに関するお問合せ、書類提出先）：

Shared Campus オフィスアドミニストレーター Iris Meili (iris.meili@zhdk.ch)

参加者の選考は担当教員が行います。

参加の最終決定時期：2023 年 4 月初旬

第 1 回説明会	2023 年 2 月 8 日
09:00–10:30	ロンドン/リスボン
10:00–11:30	アムステルダム/パリ/ジューゲン/トロンハイム/ チューリッヒ
17:00–18:30	香港/シンガポール/台北
18:00–19:30	東京/京都
20:00–21:30	メルボルン

第 2 回説明会	2023 年 2 月 28 日
11:00–12:30	ロンドン/リスボン
12:00–13:30	アムステルダム/パリ/ジューゲン/トロンハイム/ チューリッヒ
19:00–20:30	香港/シンガポール/台北
20:00–21:30	東京/京都
22:00–23:30	メルボルン

アクセス（両日共通）

Zoom：<https://zhdk.zoom.us/j/5568218974>

パスワード：468588

www.shared-campus.com



SHARED CAMPUS